

令和2年度あきる野市表彰審査会会議録

- 1 会議の名称 あきる野市表彰審査会
- 2 会議の開催日時 令和2年9月18日（金）  
午後3時28分から午後4時12分まで
- 3 会議の開催場所 市役所5階庁議室
- 4 出席委員 会長 天野 正昭  
副会長 尾崎 喜己  
委員 中村 のりひと  
委員 村野 栄一  
委員 甲野 富和  
委員 私市 豊  
委員 田野倉 裕二  
委員 大出 英祐
- 5 会議の議題 諮問事項審査「令和2年度被表彰候補者の審査」
- 6 会議の概要及び結果  
市長から諮問のあった被表彰候補者について審査し、いずれも表彰することが適当と認め、結果を市長に答申することとした。
- 7 被表彰候補者の内訳
  - (1) 自治功労表彰 1名  
表彰条例 第3条第4号 1名
  - (2) 市民表彰 28名  
表彰条例 第4条第1号 11名  
表彰条例 第4条第2号 4名  
表彰条例 第4条第3号 8名  
表彰条例 第4条第5号 5名
- 8 会議における質疑  
なし

## 9 そ の 他

新型コロナウイルス感染症が収束していない中、11月3日に予定している表彰式の開催または中止について、事務局から市のイベント等の開催状況及び近隣自治体における市表彰式の開催状況を説明したうえで、委員に意見を伺った。また、決定結果については、後日、各委員に連絡することを報告した。

### 【委員】

例年どおりの会場においては、いわゆるコロナ禍の中で、収容人数を減らしてイベントなどを開催しているのか。

### 【事務局】

会場は今年もまほろばホールを予定している。この会場におけるイベント等の開催状況の確認はとっていないが、貸し出し時に収容人数を50%以下に制限しているということはしていないと確認している。

### 【委員】

福生市、羽村市がやるいうのであれば、縮小してもあきる野市も是非何らかの形で開催した方が良いと思う。式典を行えば、例えば写真を撮って広報に載せるなどできる。感謝の気持ちをしっかり伝える場があった方が良いと思う。

### 【委員】

表彰は大変名誉なことであるため、本人としては舞台上で表彰状を受け取ることが一番良いと思う。しかし、高齢の方が大半なので、未だ新型コロナウイルスが収束していない状況を考えると、縮小して万全な感染予防ができれば良いが、それが現実的に難しいのであれば、こういう事態なので、表彰される方には非常に申し訳ないが見送るのも一つの考え方ではないかと思う。

### 【委員】

今後の感染の拡大あるいは収束の状況で、直前で判断を変える必要もあるかもしれないが、現段階の私の考えでは、出席者が限られていて不特定多数ではないことから、感染対策をしっかりと行い、開催するのが良いのではないかと思う。しかし、高齢の方が多いので、欠席者が何人も出てしまう可能性があるのが心配なところである。まほろばホールは席数が限られているが、2、3席に1人等の間隔であれば式典を1回で実施できるのではないか。式を複数回に分けるのは、表彰式としては良くないと感じる。また、来賓の数を絞らせていただく、表彰の時に壇上に複数人ずつ上がっていただいているが一人ずつとする、などの対策をしながら実施する方向が良いと思う。また、会場を広い所に移すという案もあると思うが、今までまほろばでやっているの、まほろばで対策を万全にしながら縮小してやるのが現段階では良いと思う。

**【委員】**

開催するなら感染予防対策を万全にする必要があるので、会場の選択が必要かもしれない。ふれあいホールや市役所の5階の会議室という選択肢もあると思う。

**【委員】**

実施の有無で言えば、実施をするべきだと思う。しかし、来賓・招待者については、出席率は低いが人数は多いので、絞る必要があると思う。

**【委員】**

午後予定された青少年善行表彰式が中止になった経緯を説明させていただく。9月14日にふるさと委員会の役員会を開催し、表彰式の開催について検討したが、表彰対象が児童生徒のため保護者や関係者が一緒に来るという状況であるので、会場の密が避けられないこと、制限すると表彰の意味合いが薄くなってしまうという見解があった。また、実行委員会の役員が25名いるが、平均年齢が76.5才であり、実行委員会そのものが高齢であることから、開催が難しいと判断し、中止と決定した。既に表彰する児童・生徒は決定しているため、被表彰者には役員が直接自宅に伺って表彰状をお渡しすることとなっている。

**【委員】**

自治会の会長だけみても6年以上やっていて長い方は10年以上色々なご苦労があった方達である。なので、できる限り、表彰するのであればお祝いをしてあげるのが良いと思う。もちろんコロナ禍の中でそれなりの場所を選ばなくてはならないかもしれない。場合によってはコロナ対策ができている議場も良いかもしれない。来賓も残念だが入れられないかもしれないが、なんらかの形で賞状を皆の前で渡す機会を作ってあげたいと思う。コロナは簡単に半年1年で収束するとは思えない状況になっており、コロナ禍で生活をしていく工夫を考える意味でも、今回良いチャンスになると思う。できれば、皆の意見も同様だったので、何らかの工夫をして何らかの形でお祝いをしてあげられたら、ありがたいと思う。